

## 2・3年生向け英語新カリキュラムとそのアンケート調査

長 井 克 己 (大学教育開発センター教授)

### 1. 2012年度の新カリキュラム

香川大学の1年生が受講する全学共通科目英語は2005年カリキュラム改正でその名称を「英語コミュニケーション基礎・総合演習」と変え、全学生にTOEICの受験を課するとともに、全学部共通の教科書と自学自習教材（当時は音読筆写課題）を導入して、英語による基礎的なコミュニケーション能力が担保されることを目指してきた。2011年カリキュラム改正では科目名をCommunicative English I / IIとして、特命講師の採用と習熟度別少人数クラスの導入、及び音読課題に代わるe-learningシステムの稼働を実現している。

2年生科目は2005年カリキュラムの「英語コミュニケーションLR/SW演習」を2011年よりCommunicative English III / IVとし、前期のIIIでは英語でのスピーチ・プレゼンテーションを、後期のIVではライティングを主に扱うこととしている。1年生後期と同様にTOEICテストを利用して習熟度別クラスを編成し、従来の日本人教員・外国人教員の枠を取り払って統一のシラバスで授業を行っている。1年生のCommunicative English I / IIはTOEIC受験を必須としていることから必然的にリスニングとリーディングに重きを置くのに対し、2年生のCommunicative English III / IVではアウトプット（スピーチとライティング）重視となっている。この新カリキュラムにより、聞き話し読み書く4技能がバランスよく学べるように工夫されている。以下は現行カリキュラムによる標準的な6単位の履修パターンである。

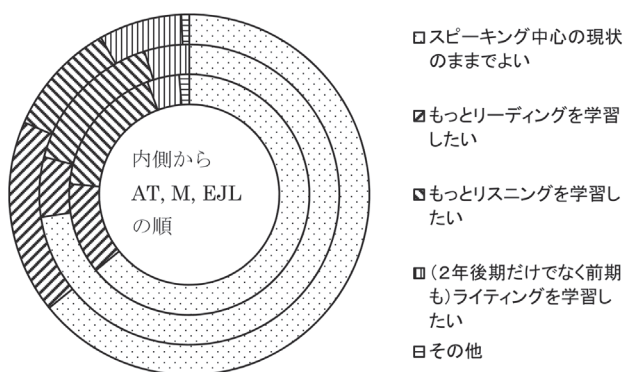
1年前期	Communicative English I 2 credits/slot
1年後期	Communicative English II 2 credits/slot
2年前期	Communicative English III 1 credit/slot
2年後期	Communicative English IV 1 credit/slot

### 2. 新科目 Communicative English IIIの初年度を終えて

2012年度は新カリキュラムが2年生に適用され、前期のCommunicative English IIIが開講された。この科目の学生と教員からの評価を得るためアンケート調査を実施し、737人の学生と29クラス分

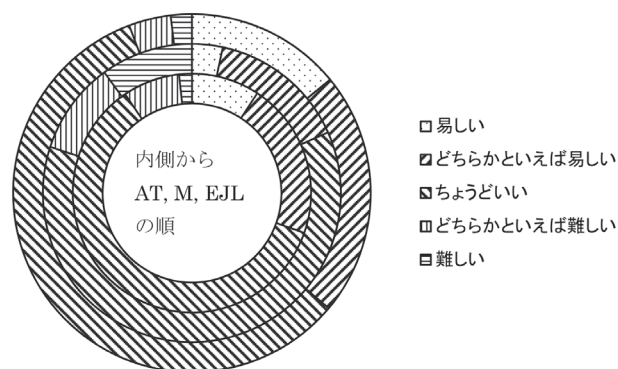
の教員から回答を得た。以下に設問と回答を示す。凡例の A は農学部、E は経済学部、J は法学部、L は教育学部、M は医学部医学科、N は医学部看護学科、T は工学部を示す。

- ・香川大学の1年生は TOEIC と授業用教科書によってリスニングとリーディングを学習した後、2年前期の Communicative English Ⅲで、スピーキング（スピーチやプレゼンテーションなどでの発信）能力を高めることを学習目標としています。この目標についてどう思いますか。



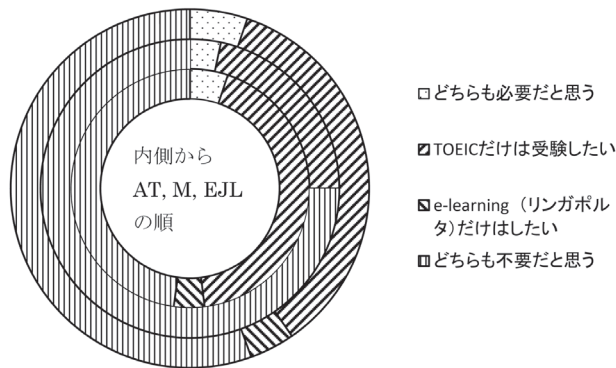
新カリキュラムの2年前期ではスピーチ・プレゼンテーションを中心に学習する現状となったが、概ね学生には評価されているようである。医学部医学科では特に、リーディングよりもスピーチ・プレゼンテーション能力が必要と考える学生が多い。

- ・授業で使用している教科書についてどう思いますか。



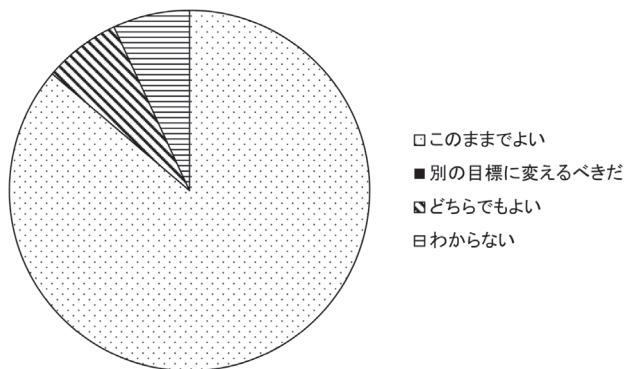
2年生の教科書は全学統一ではなく、各担当教員が授業形態に適したものを選んで使用することになっている。新カリキュラムでは1年後期に実施した TOEIC テストのスコアによって学部ごとに3レベルのクラスが用意され、教科書もそれぞれのレベルに適したものを教員が工夫して選んでいる。「ちょうどいい」と思う学生が最も多いのはそのためであろう。医学部医学科の教科書は少し難しかったようである。

- ・ 2年生は TOEIC の受験が不要で、e-learning（リンガポルタ）もありませんが、どう思いますか。



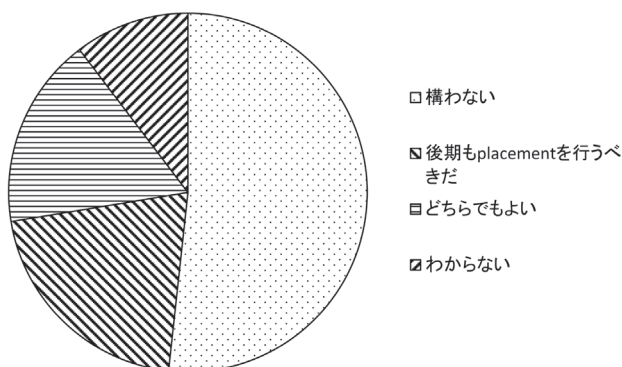
1年生で TOEIC を受験し、e-learning を受けてきた学生のうち、かなりの数の学生が 2年生でも TOEIC だけは 2年生でも受験したいと考えている。対照的に e-learning は不評のようであるが、これは学習手段としての e-learning についての評価なのか、それとも、2冊目の全学共通教科書と内容が完全に重複していたため冊子体の教科書だけで十分と評価されたのか、判断することは難しい。いずれにしても本年度の e-learning は全学共通教科書の出版社と提携し、問題もプログラムも試行錯誤で作成しながらの実施であったので、次年度以降の改善が見込まれる。

- ・ Communicative English Ⅲではスピーキング能力の育成に重点を置き、スピーチやプレゼンテーションでの発信能力を高めることを目標としています。この目標について、ご意見をお聞かせください。（教員向）



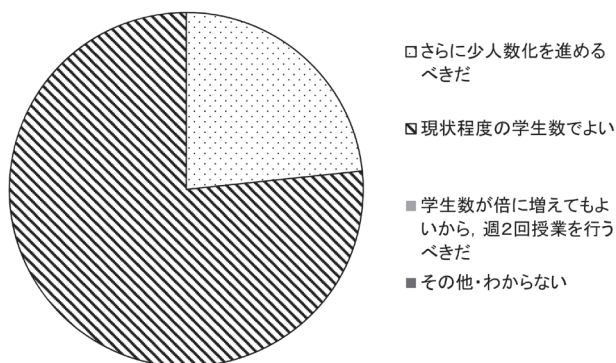
こちらは担当教員向けに意見を尋ねたものである。学生と同様、スピーチ・プレゼンテーションのアウトプットを重視する新カリキュラムは教員にも肯定的に受け入れられていると思われる。

- ・ 2年生ではTOEICとその対策用 e-learning「リングポルタ」を課さず、クラス替えが無いことについて、どう思われますか。(教員向)



もし2年前期にも TOEIC テスト等を全員に課せば、その成績により2年後期に再度クラス替えを行うことが可能となるが、その必要性を問う質問である。「後期も習熟度別」と「どちらでもよい」を合わせても、2年生は1年間クラス替えなしの現状で構わないとする意見よりやや少ない。

- ・ 1クラスの学生数について、お考えをお聞かせください。(教員向)



2012年新カリキュラムの特徴はクラスの少人数化と特命講師の導入であり、全クラスが概ね25～30名程度となった。さらに少人数化を進めるべきか、あるいはクラスサイズが大きくなっても授業回数を増やすべきか、教員に尋ねたものである。香川大学の1年生が全学共通で学ぶ英語は週1コマしかなく、他の国立大に比べて大きく見劣りすることは紛れもない事実である。しかしクラスの学生数を増やして週2コマとすることは、全く教員に支持されていない。

本節の最後に、自由記述欄の意見を以下に列挙する。

(2年英語担当教員)

- ・ きめ細かい指導をするなら、もっと人数は少ない方がよい。
- ・ 英語科目は自由選択にした方がよい。
- ・ もっといろいろな活動の形を認めて、学生が選べるというのもいいのではないかと思います。
- ・ 教育学部の学生が介護実習でバラバラ抜けて、やりにくくて困っています。年度の初めに、誰がいつ欠席するか、あらかじめ決めて、予定表を学生に提出させることはできないのでしょうか。

- ・4技能をバラバラにするのではなく、コースブックなどを使って段階的に難度を上げていき、4技能どれも総合的に伸ばしていくという方法もありだと思います。
- ・アカデミックライティングやプレゼンテーションはそれ専門のクラスを各学部一つ設ける方がいいのでは。
- ・1クラスを20人にすべき。
- ・発表とプレゼンの授業で、発音の練習（ストレス・イントネーション等）がいいと思います。
- ・不思議に思いますが、今年学生数が20人になって、周りに（活動するときなど）お互いにサポートしてくれる学生もちょっと減った気がします。私のクラスだけかもしれませんが。
- ・今年のクラスに、今までの「活気」がありません。やはり「streamlining」にしたら、ある程度各クラスの「星」がいなくなります。全員同じくらいのレベルでしたら、目指す「こいつに負けたくない！」という存在もいなくなります。
- ・上級生で再履修している学生は英検2級を持っているようで、クラスのレベルに比べると非常に英語力が高く、余裕の雰囲気です。
- ・スピーキングを主とする授業では、15人ぐらいまでが限界だと思います。
- ・週2回の授業を行うのであれば、前期か後期かどちらかを履修することにして、人数は変えない方がいい。
- ・placementでTOEICを受けさせてみてはどうですか。
- ・やり方によっては楽しい授業展開ができるので、この形に賛成です。
- ・学生が中心の授業を展開しなければならないので、やりがいもあって、やっていておもしろいです。
- ・マンパワーやその他物理的な制限があって難しいとは思いますが、やはりspeakingの授業はネイティブが担当するのが理想的と考えます。それを実行に移す場合、一クラスの人数が増えたり、CEIII以外の科目を日本人教員が担当することになるとは思いますが、それは負担すべきだと思います。「英語を選択した香大生は、全員ネイティブによるspeaking指導を受けている」というのは、大きな特徴にならないでしょうか。
- ・現状ではテストが多く、英語に熱心に取り組むほど関心を持っていない。興味が持てるように取り組みたい。例えば英文学を通じて。
- ・1年後期12月のTOEICスコアでクラス設定がなされ、2年生の1年間固定というのは、下位クラスの者ものにとって自己評価を必要以上に低くしがちだと思います。1、2回のTOEICスコアは複数の要因によって左右されることもあります。
- ・下位クラスの者も、いつかはnative speakerの先生と話せるようになりたいという、純朴な願望を持っていることがよくわかりました。
- ・日本人英語教師としての立ち位置を考え続ける前期となりました。
- ・Not much class atmosphere, perhaps because students didn't know each other.
- ・The class has developed and settled down over the last 2 months.
- ・The size is just right.
- ・It is doubtful that students are improving in their spoken English ability. They are improving in their ability to make presentations, though. Have you considered something much more radical such as some form of content-based learning? Ehime Univ. is now considering this. If you think that Kagawa University

students really need English then I think they need use it in authentic situations. But both faculty and students would need to work very hard to achieve this.

- If you feel that our students need to study real English, then you probably need to take the next leap. But beware..., the faculty will be busy! I feel that by just choosing one from a selection of English conversation textbooks (as is now the case) that we cannot really help our students very much. And also, if something closer to content-based learning were adopted, students would still need to learn presentation skills.

(2年学生)

- 話せるようになることが一番難しいと感じるので、スピーキング中心なのは良いと思う。
- もっとクラスの人数を減らしてほしい。
- 2年の時の方が1年の時より難易度が下がった気がします。
- スピーキングよりもトーキング中心の授業にしてほしい。
- クラスによって課題の難易度にかなり差があるので改善してもらいたい。
- 先生によって授業内容の差が激しい。
- 全体でやる内容をある程度統一してほしい。
- スピーキング中心ならば、筆記テスト実施の意味がわからない。
- もっと外国の人たちと会話がしたい。
- クラスごとに授業内容が全然違うのがおかしいと思う。
- 英語にはもっと力を入れるべきだ
- 基礎基本の復習が授業時間外にほしい。
- もっと授業方法を工夫してほしい。
- 今のままで満足です。
- 少しだけ表現の幅が広がったと思う。
- 1年の時のようなクラス分けにしてほしい
- スピーキング中心の授業だと、集中するし寝る人が少ない。
- 英語で会話するのが好きになった。
- 毎週一人ずつスピーチしているクラスもあれば、全くしていないクラスもあるので差があるのはどうかと思う。
- TOEICを受験しようと思う人は勝手に受験しているので、全員に受験させる必要はない。
- ネイティブの先生に教えてもらえるのはうれしい。
- ネイティブで日本語が流暢に話せる人が良い。
- 同じ学科ごとにクラス分けをしてほしかった。
- 語学が必要ないと思っている人に英語などをやらせても意味がない。
- パワーポイントをするよりは、文法とか単語の勉強がしたかった。
- パソコンを使うことに最初戸惑いがあった。
- 授業を選べたらそれが一番いい。
- e-learning は選択形式の者は良いが、打ち込み形式のものは正直に言うと勉強にならない。
- e-learning は勉強というよりただの作業のような感じがする。そのためすぐに飽きてしまう。

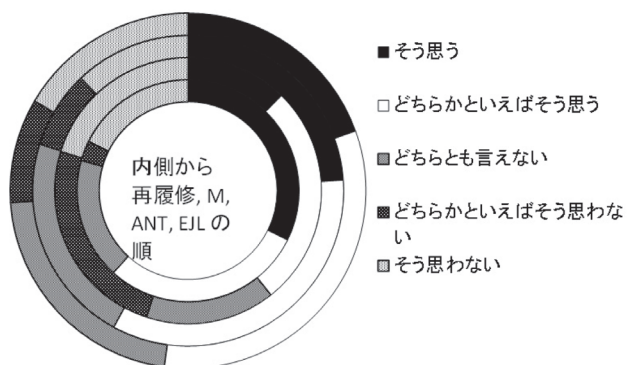


- ・ e-learning はあまり必要だとは思いません。答えを丸写しする人もいると思うから、授業内でできるの方がいい気がします。
- ・ e-learning はやると次回しないので、復習としての効果はない。
- ・ e-learning は不要。昨年やったが意味があったとは思えない。
- ・ リンガポルタはかける時間の割に学習できない。
- ・ TOEIC を目標にした勉強は全くの無駄。
- ・ TOEIC はお金がかかるので任意で受けたい。
- ・ TOEIC は受験したいが自分で受けることは可能なので、学校単位で受ける必要はない。
- ・ TOEIC やリンガポルタがないと、だらけると思います。
- ・ TOEIC の勉強をもっとして、働くときに困らないようにしたい。
- ・ 2年後期の TOEIC Bridge を止めて、2年次も普通の TOEIC にした方が良いと思います。
- ・ 3年か4年になったら全学部生が TOEIC か TOEFL を受ける制度を作るべきだ。
- ・ 教科書が高い。
- ・ もう少し教科書のしていないところをしてもいいと思った。
- ・ 教科書を使っていない。
- ・ 教科書が外国のものであり、質問したいがよくわからないところがあった。
- ・ 教科書が1年の時よりも易しすぎる。
- ・ 毎週小テストのようなことをしてほしい。

### 3. 1年生学生アンケート

全受講生が受験する TOEIC テストのマークシート用紙にあるアンケート欄を利用し、Communicative English I / II についての意見を聞いた。有効回答数は 1,134 名である。

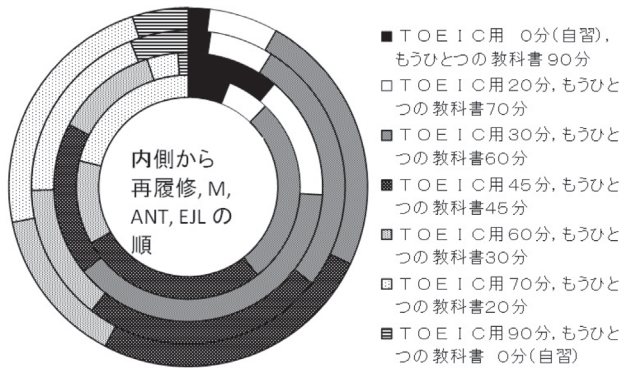
- ・ 現在受講している授業（Communicative English I）以外に、英語に対して強い苦手意識を持っている学生を対象とした授業（基礎からやり直しを行う授業）が必要だと思いますか。



ここで問うているのは後期より導入された習熟度別クラス編成による初級クラスとは別の、いわゆるリメディアルコースである。当然ながら再履修学生からの希望は強く、続いて農・医（看護）・工学部、

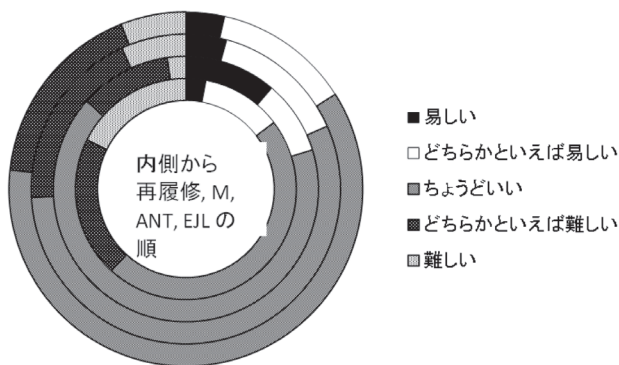
経済・法・教育学部の順に必要性を感じているようである。

・ 2冊の教科書に費やす時間は、どのような配分が適当だと思いますか。



1年生では全学共通の TOEIC 対応テキストと、授業用テキストの 2冊を使って授業が行われる。その時間配分について尋ねたものである。TOEIC 対応テキストの方にはあまり時間を割くべきではないという意見が見て取れ、それは現行の授業時間配分とも一致する。

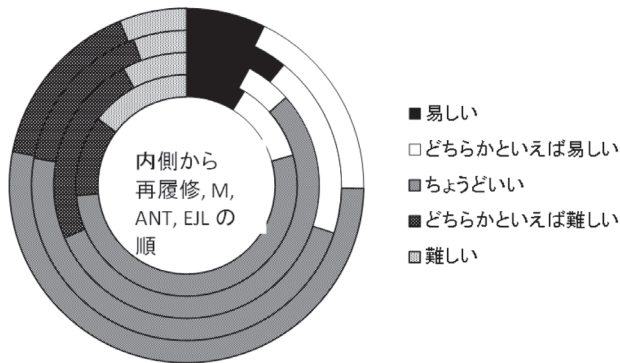
・ TOEIC 対応の全学共通教科書についてどう思いますか。



1年生用全学共通テキストの難易度については、ちょうどよいと考える学生が多い。

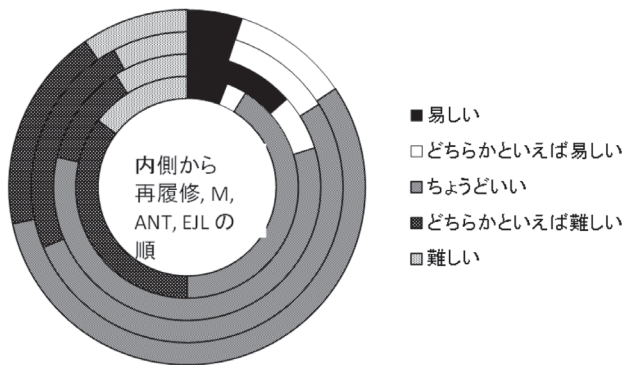


- ・授業で使用している教科書（TOEIC 対応の全学共通教科書でないほう）についてどう思いますか。



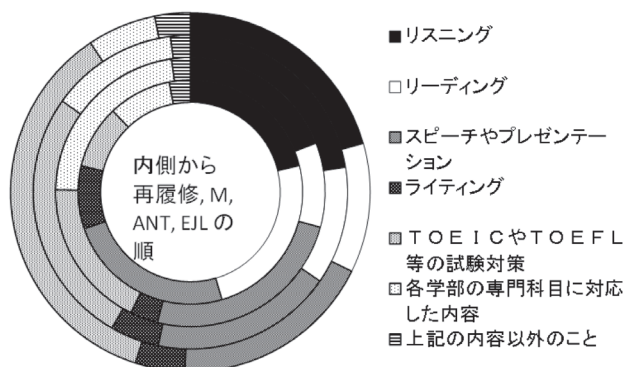
こちらの教科書はレベル別に各教員が選択するものなので、学部間でのアンケート結果の差は小さい。

- ・TOEIC 対応の e-learning（インターネット利用の自習）についてどう思いますか。

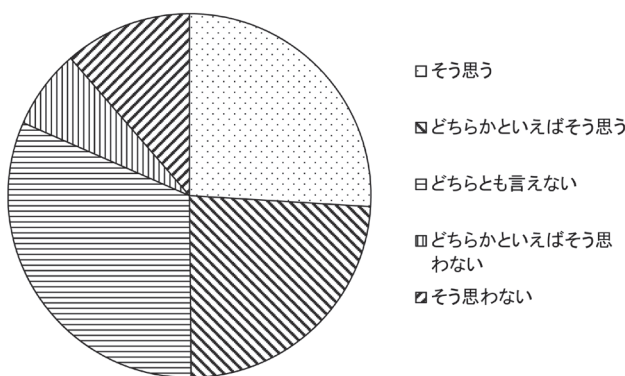


e-learning の内容は全学共通教科書から採られているが、サーバ側は学習者のレベルに合わせて難易度を適応させる仕組みを備えている。しかし結果は教科書への評価と類似のものとなった。

・2年生の英語の授業で最も学びたいものは何ですか。



・後期から TOEIC の成績による習熟度別クラス編成に変わりました。前期と比べて、学習しやすくなったと思いますか？（この項目は1年後期に行った。回答数は1,159。）



約半数の学生が、後期から習熟度別にクラス替えをすることに肯定的であり、否定的な意見は1/4にも満たない。ただし教師側からは、評価の難しさ、個人のモチベーション低下やクラスの雰囲気悪化を心配する意見が寄せられた。それは2年生での習熟度別クラス編成と問題点は同じであるので、2年生アンケートの自由記述も参照されたい。

#### 4. 2012年度 TOEIC テストの成績分布

7月と12月に1年生の英語履修者全員を対象に行った TOEIC テストの学部別成績分布を以下に示す。takers は受験者数、mean は平均点、sd は標準偏差である。左目盛りがリスニングとリーディングの、右目盛りがトータルの、それぞれ点数を示し、数字が該当する学生の数である。高度な英語力を持つ学生の把握のため、本年度より表のレンジを800点まで広げた。7月に比べ12月の平均スコアが低下している学部も多いが、その理由の一つはおそらく、7月の TOEIC スコアによる後期履修免除の学生の存在である。2011年度は15名、2012年度は22名が1年後期の Communicative English II の履修が免除されており、12月の TOEIC 受験者から高学力層が抜けていることになる。母数が小さく免除者の多い医学部医学科では、その傾向は顕著である。

2・3年生向け英語新カリキュラムとそのアンケート調査

2012年7月		listening	reading	total	
全学部	takers	1134	1134	1134	
	mean	235	186	420	
	sd	56	66	113	
	380-	10	6	4	800-
	360-375	15	15	1	750-795
	340-355	24	9	14	700-745
	320-335	36	12	27	650-695
	300-315	55	30	35	600-645
	280-295	110	35	65	550-595
	260-275	98	60	100	500-545
	240-255	163	47	170	450-495
	220-235	216	105	207	400-445
	200-215	108	138	206	350-395
	180-195	126	101	162	300-345
	160-175	90	152	94	250-295
	140-155	43	152	44	200-245
	120-135	29	112	5	150-195
	-115	11	160	0	-145
	(listening/reading)				(total)

農	takers	143	143	143	
	mean	233	169	402	
	sd	49	49	85	
	380-	0	0	0	800-
	360-375	0	0	0	750-795
	340-355	1	0	0	700-745
	320-335	3	0	0	650-695
	300-315	7	0	1	600-645
	280-295	18	2	4	550-595
	260-275	16	7	16	500-545
	240-255	19	6	22	450-495
	220-235	28	8	34	400-445
	200-215	19	17	27	350-395
	180-195	11	16	26	300-345
	160-175	12	27	7	250-295
	140-155	3	24	5	200-245
	120-135	3	18	1	150-195
	-115	3	18	0	-145
	(listening/reading)				(total)

経済	takers	266	266	266	
	mean	239	188	427	
	sd	51	62	103	
	380-	0	0	0	800-
	360-375	1	0	0	750-795
	340-355	7	1	0	700-745
	320-335	11	2	3	650-695
	300-315	16	4	11	600-645
	280-295	30	13	19	550-595
	260-275	27	19	32	500-545
	240-255	40	14	55	450-495
	220-235	41	39	39	400-445
	200-215	30	42	36	350-395
	180-195	33	16	43	300-345
	160-175	18	25	16	250-295
	140-155	8	30	12	200-245
	120-135	3	21	0	150-195
	-115	1	40	0	-145
	(listening/reading)				(total)

2012年7月		listening	reading	total	
法	takers	132	132	132	
	mean	237	191	428	
	sd	48	53	91	
	380-	0	0	0	800-
	360-375	0	0	0	750-795
	340-355	2	1	1	700-745
	320-335	5	0	0	650-695
	300-315	8	2	2	600-645
	280-295	14	5	11	550-595
	260-275	12	8	16	500-545
	240-255	19	5	22	450-495
	220-235	36	14	34	400-445
	200-215	9	27	28	350-395
	180-195	11	20	7	300-345
	160-175	10	18	6	250-295
	140-155	4	14	3	200-245
	120-135	0	8	2	150-195
	-115	2	10	0	-145
	(listening/reading)				(total)

教育	takers	164	164	164	
	mean	237	193	430	
	sd	55	58	103	
	380-	2	1	1	800-
	360-375	3	1	0	750-795
	340-355	4	0	2	700-745
	320-335	3	2	2	650-695
	300-315	3	3	4	600-645
	280-295	19	1	7	550-595
	260-275	15	13	16	500-545
	240-255	30	11	31	450-495
	220-235	34	20	39	400-445
	200-215	15	20	33	350-395
	180-195	19	20	19	300-345
	160-175	6	26	5	250-295
	140-155	4	20	4	200-245
	120-135	6	16	1	150-195
	-115	1	10	0	-145
	(listening/reading)				(total)

医	takers	98	98	98	
	mean	301	294	595	
	sd	60	66	115	
	380-	8	5	3	800-
	360-375	10	14	1	750-795
	340-355	9	7	11	700-745
	320-335	9	7	21	650-695
	300-315	14	20	15	600-645
	280-295	14	11	15	550-595
	260-275	10	9	11	500-545
	240-255	11	5	10	450-495
	220-235	8	8	6	400-445
	200-215	2	4	5	350-395
	180-195	2	2	0	300-345
	160-175	0	2	0	250-295
	140-155	0	2	0	200-245
	120-135	1	1	0	150-195
	-115	0	1	0	-145
	(listening/reading)				(total)

2012年7月		listening	reading	total	
看護	takers	59	59	59	
	mean	221	168	389	
	sd	57	51	98	
	380-	0	0	0	800-
	360-375	1	0	0	750-795
	340-355	1	0	0	700-745
	320-335	2	1	1	650-695
	300-315	3	0	1	600-645
	280-295	2	0	4	550-595
	260-275	7	2	2	500-545
	240-255	5	3	5	450-495
	220-235	13	4	10	400-445
	200-215	4	6	16	350-395
	180-195	8	3	11	300-345
	160-175	6	12	5	250-295
	140-155	2	12	3	200-245
	120-135	3	9	1	150-195
	-115	2	7	0	-145
	(listening/reading)				(total)

工	takers	232	232	232	
	mean	209	152	361	
	sd	45	46	80	
	380-	0	0	0	800-
	360-375	0	0	0	750-795
	340-355	0	0	0	700-745
	320-335	3	0	0	650-695
	300-315	3	1	1	600-645
	280-295	12	2	4	550-595
	260-275	10	2	6	500-545
	240-255	36	3	24	450-495
	220-235	44	11	42	400-445
	200-215	25	21	50	350-395
	180-195	38	23	47	300-345
	160-175	31	35	45	250-295
	140-155	18	42	13	200-245
	120-135	10	31	0	150-195
	-115	2	61	0	-145
	(listening/reading)				(total)

再履修	takers	38	38	38	
	mean	198	134	332	
	sd	41	43	75	
	380-	0	0	0	800-
	360-375	0	0	0	750-795
	340-355	0	0	0	700-745
	320-335	0	0	0	650-695
	300-315	0	0	0	600-645
	280-295	1	1	0	550-595
	260-275	1	0	1	500-545
	240-255	3	0	1	450-495
	220-235	11	0	3	400-445
	200-215	4	1	11	350-395
	180-195	4	1	8	300-345
	160-175	7	7	10	250-295
	140-155	4	8	4	200-245
	120-135	3	8	0	150-195
	-115	0	12	0	-145
	(listening/reading)				(total)

2・3年生向け英語新カリキュラムとそのアンケート調査

2012年12月		listening	reading	total	
全学部	takers	1158	1158	1158	
	mean	236	176	411	
	sd	55	58	103	
	380-	14	2	2	800-
	360-375	4	4	2	750-795
	340-355	26	6	7	700-745
	320-335	42	7	11	650-695
	300-315	64	22	26	600-645
	280-295	85	24	62	550-595
	260-275	145	33	108	500-545
	240-255	174	56	179	450-495
	220-235	179	102	204	400-445
	200-215	147	108	252	350-395
	180-195	136	161	164	300-345
	160-175	62	153	87	250-295
	140-155	37	154	47	200-245
	120-135	25	155	7	150-195
	-115	18	171	0	-145
	(listening/reading)				(total)

農		listening	reading	total	
	takers	151	151	151	
	mean	238	167	405	
	sd	48	48	85	
	380-	0	0	0	800-
	360-375	0	0	0	750-795
	340-355	3	0	0	700-745
	320-335	9	1	1	650-695
	300-315	8	1	2	600-645
	280-295	12	0	5	550-595
	260-275	14	0	14	500-545
	240-255	27	8	27	450-495
	220-235	27	16	24	400-445
	200-215	25	8	40	350-395
	180-195	15	24	22	300-345
	160-175	4	26	12	250-295
	140-155	2	27	3	200-245
	120-135	4	18	1	150-195
	-115	1	22	0	-145
	(listening/reading)				(total)

経済		listening	reading	total	
	takers	257	257	257	
	mean	243	176	419	
	sd	57	58	106	
	380-	4	0	0	800-
	360-375	2	1	0	750-795
	340-355	4	0	2	700-745
	320-335	11	1	4	650-695
	300-315	23	5	7	600-645
	280-295	26	6	12	550-595
	260-275	37	7	31	500-545
	240-255	30	10	46	450-495
	220-235	36	32	40	400-445
	200-215	31	35	55	350-395
	180-195	25	28	31	300-345
	160-175	11	32	11	250-295
	140-155	6	28	16	200-245
	120-135	8	28	2	150-195
	-115	3	44	0	-145
	(listening/reading)				(total)

2012年12月		listening	reading	total	
法	takers	149	149	149	
	mean	238	184	422	
	sd	49	57	93	
	380-	1	0	0	800-
	360-375	0	0	0	750-795
	340-355	2	2	1	700-745
	320-335	8	0	1	650-695
	300-315	6	6	4	600-645
	280-295	9	1	7	550-595
	260-275	28	7	18	500-545
	240-255	19	8	22	450-495
	220-235	24	16	32	400-445
	200-215	26	14	36	350-395
	180-195	14	23	19	300-345
	160-175	7	18	6	250-295
	140-155	1	24	2	200-245
	120-135	2	17	1	150-195
	-115	2	13	0	-145
	(listening/reading)				(total)

教育		listening	reading	total	
	takers	176	176	176	
	mean	240	185	426	
	sd	55	60	105	
	380-	3	1	1	800-
	360-375	1	0	1	750-795
	340-355	4	2	1	700-745
	320-335	4	1	2	650-695
	300-315	7	2	1	600-645
	280-295	14	4	11	550-595
	260-275	24	6	15	500-545
	240-255	39	12	43	450-495
	220-235	31	16	37	400-445
	200-215	13	23	27	350-395
	180-195	18	34	21	300-345
	160-175	9	18	9	250-295
	140-155	3	12	7	200-245
	120-135	4	24	0	150-195
	-115	2	21	0	-145
	(listening/reading)				(total)

医		listening	reading	total	
	takers	73	73	73	
	mean	280	253	533	
	sd	58	61	103	
	380-	4	1	1	800-
	360-375	0	3	1	750-795
	340-355	10	2	2	700-745
	320-335	7	3	2	650-695
	300-315	9	7	10	600-645
	280-295	7	10	22	550-595
	260-275	5	10	12	500-545
	240-255	12	9	6	450-495
	220-235	11	7	10	400-445
	200-215	2	6	5	350-395
	180-195	5	5	1	300-345
	160-175	0	6	1	250-295
	140-155	1	3	0	200-245
	120-135	0	1	0	150-195
	-115	0	0	0	-145
	(listening/reading)				(total)

2012年12月

看護 takers	59	59	59	
mean	221	159	380	
sd	54	47	92	
380-	0	0	0	800-
360-375	0	0	0	750-795
340-355	2	0	0	700-745
320-335	1	0	0	650-695
300-315	2	0	1	600-645
280-295	1	1	2	550-595
260-275	7	1	3	500-545
240-255	11	1	5	450-495
220-235	8	4	15	400-445
200-215	7	4	11	350-395
180-195	9	9	9	300-345
160-175	4	8	10	250-295
140-155	4	11	2	200-245
120-135	0	7	1	150-195
-115	3	13	0	-145
(listening/reading)				(total)

工 takers	249	249	249	
mean	215	152	367	
sd	49	43	82	
380-	2	0	0	800-
360-375	1	0	0	750-795
340-355	0	0	1	700-745
320-335	1	1	1	650-695
300-315	5	0	1	600-645
280-295	15	2	1	550-595
260-275	26	1	9	500-545
240-255	29	4	25	450-495
220-235	38	8	42	400-445
200-215	36	18	66	350-395
180-195	44	31	55	300-345
160-175	23	39	32	250-295
140-155	18	44	14	200-245
120-135	6	52	2	150-195
-115	5	49	0	-145
(listening/reading)				(total)

再履修 takers	44	44	44	
mean	223	164	387	
sd	56	54	95	
380-	0	0	0	800-
360-375	0	0	0	750-795
340-355	1	0	0	700-745
320-335	1	0	0	650-695
300-315	4	1	0	600-645
280-295	1	0	2	550-595
260-275	4	1	6	500-545
240-255	7	4	5	450-495
220-235	4	3	4	400-445
200-215	7	0	12	350-395
180-195	6	7	6	300-345
160-175	4	6	6	250-295
140-155	2	5	3	200-245
120-135	1	8	0	150-195
-115	2	9	0	-145
(listening/reading)				(total)



## 5. おわりに

大学教育開発センターの担当する全学共通科目英語は、全学の協力の下に昨年度より、特命講師を採用して少人数クラスを実現している。それに加え、TOEICによる習熟度別クラス編成と e-learning による自学自習支援の三本柱が、最新カリキュラムの特徴であり、本報告で紹介した学生及び教員対象のアンケート調査でも、概ね好調なスタートを切れていると判断してよいと思われる。次年度よりグローバル人材プログラムや海外短期留学科目が登場し、「実用英語」が農学部での学部提供科目として開講される。3年生以上向けの上級英語Ⅰ／Ⅱも、経過措置を経て2016年度より、新カリキュラムの外国語科目 Academic EnglishⅠ／Ⅱへ移行し、新カリキュラムが完成することが決定している。分散キャンパスでの困難点も予想されるが、各部局のご協力を引き続きお願いしたいと考えている。